

学校の部 最優秀賞（知事賞）

みなべ町立高城小学校



花づくりや花壇の管理は誰がどのように行っていますか

私達、高城小学校の放送・栽培委員会は「心の中に花一輪」の合い言葉で四季折々の花を育てています。自分達で育てたい花の種をカタログで選んだり、前年に採取した種を一粒一粒プラグトレイの1マス1マスに竹串を使って丁寧に蒔きます。発芽し本葉が育ってきた頃に黒ポットへ根を切らないように優しく移植したり、苗の先端を摘芯したりして大きく育てています。自家生産苗をすることにより、豊かで思いやりのある心と命を大切に作る心が育ちます。自分達で種を選び、自分達の手で種を蒔いて育てる楽しさは格別です。

ご近所や関係者の反応はどうか、またどのような交流が広がっていますか

学校下の梅畑を開墾して作った25㎡の花壇は、今年で3回目の夏を迎えます。当初はコロナ禍の中「地域住民に喜んでもらいたい」という思いから畑を開墾しました。今ではすっかり地域の住民の心の憩いの場になっています。年2回、植えかえ作業する度に、「次は何を植えるん?」「土がいいから、花も立派やでな。何を混ぜているん?」と地域の皆さんと話が弾みます。また、毎年7月に高城地域共育協議会様より、地域の子供達を応援する為に、今年もジニアの苗を頂きました。美しい地域で心やさしい子供達に育てて欲しいというメンバーの思いがジニア1本1本に込められています。ジニアの花言葉は「絆」です。地域の皆さんと子供達は花言葉のように強い絆で結ばれています。

